

教育センター学びの丘研修員における学びについて

有田市立有和中学校

教諭 北山 寛 貴

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教員としての資質・能力の向上を目指してきた。その1年間の学びについて述べる。

研究では、自身の授業における生徒のつまずきの場면을省察することで課題を明らかにし、その課題解決に向けた実践を行った。研究を通して、理科において生徒の資質・能力の育成を目指すためには、探究の過程を通じた見方・考え方を働かせながら批判的思考を繰り返していくことが大切であると実感した。

修養では、校種や教科を越えて様々な学習指導に関する研修を受講し、幅広く知見を深めることができた。また、教職に必要な素養に関する研修を通して、ミドルリーダーとして組織の同僚性や協働性を高めるための学校運営に積極的に関わっていくことの大切さを意識することができた。

今後は、研修員として学んだ知識や研究を所属校や地域に還元していくとともに、探究する姿勢を継続し、教員としての資質・能力の向上に努め、所属校の発展や生徒の成長に貢献していきたい。